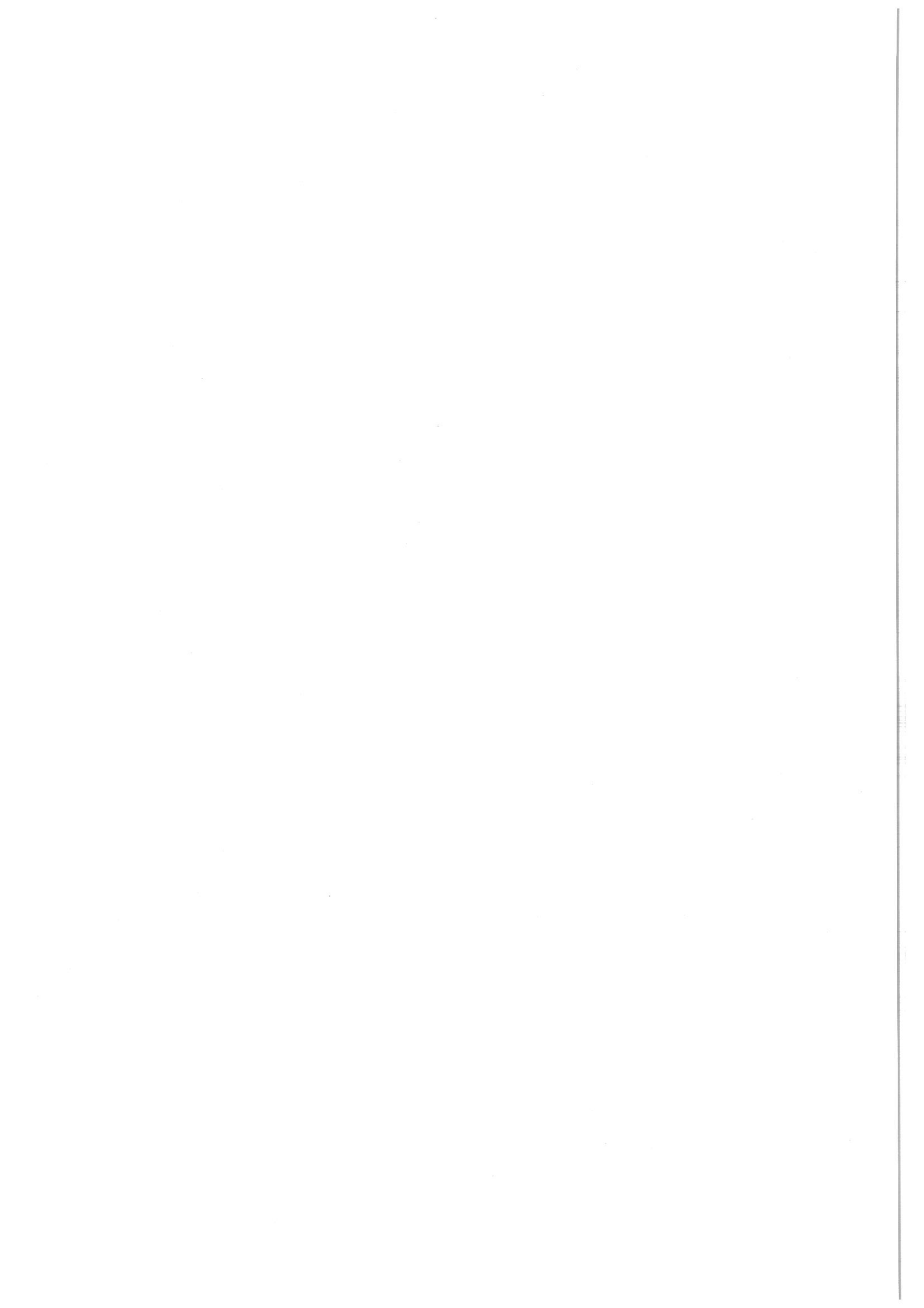

第4章

サークル活動のあゆみ

〈昭和62年～平成8年〉
(1987) (1996)



1. 公民館本館利用者連絡会のあゆみ

昭和52年12月、公民館利用者懇談会が「ふっさ公民館を創る市民の会」のメンバーを中心に、公民館利用者の連絡会として組織された。

その後、54年に第1回公民館利用者大会を開催するも、55年に利用者懇談会はその活動を休止した。利用者の横のつながりの要がなくなったことは、公民館にとって大きな課題を残した。

その後、昭和57年より実施された「公民館のつどい実行委員会」や利用者研修会、交流会がその役割を担う時期が続いた。

〈つどいから始まった公民館利用者ネットワーク〉

平成4年の公民館のつどいの反省会で、つどい以外にも利用者の交流、情報交換の場が必要であるという意見をきっかけに、同年12月より公民館利用者ネットワークが開催された。このネットワークは年4回のペースで、公民館3館を対象に、昼夜の2部構成で市民主体で話し合ってきた。

しかし、夜の参加者が減少していくという状況の中、アンケートで利用者の課題を把握し、議題とすることで利用者を集めようとしたが、事態を打開することは困難であった。

〈本館利用者連絡会設立〉

ネットワークのなかで、3館対象という組織では本来の目的を達することは困難ではないか。まず、本館の利用者の交流が必要ではないのかとの声があがり、本館対象の組織を検討することになった。

平成6年1月29日に本館利用者連絡会準備会でネットワークの役員がつくりあげた原案を討議し、本館利用者の交流の場の必要性を確認し合い、連絡会の設立の準備について話し合った。

それは、いままでのように運営の主体が公民館にあるのではなく、国立市、東大和市のように独

立したひとつの団体として連絡会を位置付けていくという方向である。本館の利用者としてより主体的に公民館に関わる事を意味し、公民館と利用者との関係を大きく変えるものであった。

同年、3月5日、第1回の本館利用者連絡会を開催。会を正式に設立。その運営について話し合い確認し合った。

初代の会長は杉山行男さん。加盟サークルを募り、22団体でスタートした。2ヶ月に1回のペースで定例会と事前の役員会も開催。公民館運営審議会委員も本館代表として2名選出することとした。同年、3月20日利用者研修会で国立市の公民館利用者連絡会の中山氏を招き、学習し、福生にあった運営の構築を目指した。それらを参考に「きまり」を作成し、7月の利用者連絡会で決定した。公民館利用についてのアンケートも実施、その結果について検討した。平成7年3月には東大和市の公民館利用者連絡会と交流し、運営について学んだ。

〈4年目を迎える本館利用者連絡会〉

平成7年5月の利用者連絡会で、鳥居由幸さんが会長となった。同年もアンケートを実施したが、11月にはその結果を要望書としてまとめ、公民館に提出した。以後、アンケートからの要望書づくりは毎年実施され、利用者の声を公民館に伝えるものとして連絡会の活動の柱になっている。

平成9年3月の利用者研修会では分館利用者を招いての交流会を実施、利用者連絡会の事業のなかで3館合同の交流会のきっかけとなった。同年、10月の連絡会で、田中加代さんが運営委員長（会長より役員名称の変更）となった。同時に、「きまり」の改正も行われた。連絡会への参加を増やすため、従来のサークルの任意加盟という形態ではなく、利用団体全てを対象とし、参加を呼び掛けていくことにした。

本館利用者連絡会を思う

元本館利用者連絡会会長

杉山行男



当時、本館利用者代表として公民館運営審議会委員をしていました。受身でなく、わがままでなく、主体的に関わることはいつも自分を活性化させてくれます。

公民館で学習だ、話し合いだといって活動している人は「左」だという人もいました。面と向かって違うというのも、バカらしい考えだと思いました。まだこういうのが幅を利かせているのかとも感じました。理屈や小むずかしい事、堅苦しい事は、逃げておき、自分さえ楽しくておもしろければ良い。公民館という社会教育／生涯学習の拠点となる活動の場は単なる無料の貸会場では良いわけがありません。カルチャーサークル、身体を動かすサークル、話し合いや学習サークル等さまざまな活動も基本的に学ぶ事とそれらを地域に返していく事を忘れてはいけいのではないのでしょうか。

自ら主体的に学ぶ事を福生ではいつでも、だれにでも保証してしてくれます。そのことを、定期的に確認していくことが、ネットワークや利用者連絡会の始まりであったような気がします。

利用者連絡会は市民＋職員で単純な貸し部屋でない、公民館を創っていく休まない活動なのではないかと思います。

公運審委員の時、「普通の人が普通に考えておかしいと思ったら、それはどこかがおかしいのですよ」と、アドバイスをしてくれた先輩委員がられました。以前から普通でありたいと思ってい

ましたので、そのときはずいぶん楽になったものでしたが、普通とは、絶えず勉強し、努力をしないといけないものだと感じています。

個と個の関係の希薄化、地域コミュニティの無関心は、「個性化」、「価値の多様化」という言葉で免罪符化されています。しかし今、私たちは一人では生きられないのであって、人と人との良い関係を保ちながら、コミュニティの普通の一員としての基本的マナーを身につけていかねばならない。そしてそれは少しずつ変化をしていますので、学習は必要不可欠です。そのことはだれにも強制されませんので主体的にということは、もっと大切なことと思うのです。そうした学習／勉強を続けていくことは、自分を知り、地域を知り、福生に生まれた者でなくても、福生をいとおしく思う事ができ、永住しよう、地域コミュニティの一員として街づくりに参加しようとする主体的な市民が育つような気がしています。

人が育つシステムがそこに用意されているのに、広がりが見られ見られないのは、育った市民が少ないのか、今まさに育ちつつあるのか、さらにシステムの充実が求められるのか、市民と職員の切磋琢磨の絶え間ない学習活動がないといけません。

そのためにも、利用者連絡会の活動にもっと多くの利用者や市民の理解が得られたなら“福生バンザイ！”と叫んでしまうかも知れません。



第16回公民館のつどい

昭和62年度

公民館（本館）利用者研修会

期 間 昭和63年 3 月 23 日（水） 午後 7 時半～ 9 時半

会 場 公民館

参加者 30人

月 日	内 容	講 師
3. 23	サークル活動と公民館	小野 征夫（日本福祉専門学校）

昭和63年度

公民館（本館）利用者研修会

期 間 平成元年 3 月 8 日（水） 午後 7 時 30 分～ 9 時 30 分

会 場 公民館

参加者 40人

月 日	内 容	講 師
3. 8	元気のでる公民館利用法	重本弘子（前東村山市公運審委員）

平成元年度

公民館本館利用者交流会

日 時 平成元年 11 月 18 日（土） 午後 7 時 30 分～ 9 時 30 分

会 場 公民館本館

参加者 32人

公民館本館利用者研修会

日 時 平成2年3月18日（日）
会 場 公民館
テーマ 「生涯学習と公民館」
講 師 小林 文人（学芸大教授）
参加者 43人

平成2年度

公民館本館利用者交流会

期 日 平成2年9月19日（水） 午後7時30分～9時30分
会 場 公民館本館
参加者 23人

公民館本館利用者研修会

期 日 平成3年3月13日（水） 午後7時30分～9時30分
会 場 公民館本館
テーマ 「サークル活動の楽しさと公民館」
講 師 太田 政男（大東文化大学教授）
参加者 18人

平成3年度

公民館本館利用者交流会

日 時 平成3年9月18日（水） 午後7時半～9時半
会 場 公民館本館
参加者 6人

公民館本館利用者研修会

日 時 平成4年3月18日(水) 午後7時半～9時半

会 場 公民館本館

テーマ 「サークル活動の広がり求めて」

講 師 重本 弘子(元東村山市公運審委員)

参加者 15人

公民館本館調理室利用者連絡会

会 場 公民館本館

参加者 10人×4回=40人

月 日	内 容
8. 2	調理室の清掃、サークルの活動日調整、備品
9. 5	調理室の清掃、サークルの活動日調整
11. 27	調理室の清掃、部屋の受付方法
1. 30	調理室の清掃、部屋の受付方法

平成4年度

公民館本館利用者研修会

期 間 平成5年3月9日(火)

午後7時半～9時半

テーマ 「公民館はなぜ無料か」

講 師 島田 修一(中央大学教授)

会 場 公民館本館

参加者 21人

公民館本館利用者交流会

期 間 平成4年9月17日(木)

午後7時半～9時半

会 場 公民館本館

参加者 10人

公民館本館調理室利用者連絡会

会 場 公民館本館
参加者 6人×2回=12人

月 日	内 容
5. 14	調理室の清掃、部屋の受付方法
7. 9	〃

公民館利用ネットワーク

月 日	内 容
12. 3	最近、公民館を利用して感じたこと、利用者研修会内容について
3. 18	最近、公民館を利用して感じたこと、利用者研修会に参加して

会 場 公民館本館
参加者 昼の部 14人×2回=28人
夜の部 6人×2回=12人

平成5年度

公民館（本館）利用者交流会

月 日	テ ー マ	参 加 者
11. 16	情報交換と来年度の利用者要望を聞く	25人

公民館（本館）利用者研修会

月 日	テ ー マ	講 師	参加者
3. 30	利用者の結びつきとは	中山 三男（国立市公民館利用者連絡会）	16人

本館利用者連絡会準備会

日 時 平成6年1月29日 午前10時～12時
 会 場 公民館本館
 参加者 19人×1回=19人
 内 容 本館利用者連絡会の設立準備について

本館利用者連絡会

日 時 平成6年3月5日 午前10時～12時
 会 場 公民館本館
 参加者 20人×1回=20人
 内 容 本館利用者連絡会の設立・その運営について

公民館本館調理室利用者連絡会

日 時 平成5年11月13日 午前10時～12時
 会 場 公民館本館
 参加者 9人×1回=9人
 内 容 調理室の清掃等

公民館利用者ネットワーク

会 場 公民館本館
 参加者 昼の部 8人×2回=16人
 夜の部 4人×2回=8人

月 日	内 容
6. 4	サークル活動を広げる～楽しく生き生きと～
9. 25	公民館利用者ネットワークのあり方について

平成6年度

本館利用者連絡会

日 時 平成6年5月21日（土）～1月21日（土） 午前10時～12時 全7回
 会 場 公民館本館
 参加者 延べ95人

月 日	内 容
5. 21	会則について・アンケート結果について
7. 16	会則について・アンケート結果について・公民館はなぜ無料か
8. 20	アンケート結果について・公民館はなぜ無料か
9. 17	公民館のつどいについて・アンケート結果について
10. 22	利用者研修会について・公民館備品の要望について・社会教育機関とは
12. 10	利用者研修会について・社会教育機関とは
1. 21	利用者研修会について

本館利用者研修会

日 時 平成7年3月7日（火）午前10時～12時

会 場 公民館本館

参加者 20人

テーマ 『公民館は私たちのもの～つかうだけの公民館から、つくりあげる公民館へ』

講 師 東大和市公民館利用者連絡会 田中昌子・加藤知代・松尾朋子・伊藤かおる

公民館本館調理室利用者連絡会

日 時 平成6年5月26日（火）～平成7年1月24日（火）
 午前10時～12時 全5回

会 場 公民館本館

参加者 12人×5回=60人

内 容 調理室の清掃等

美術室利用者連絡会

日 時 平成6年6月1日(水)、9月1日(木)、10月1日(土)
午前10時～正午 全3回

場 所 公民館本館美術室

参加者 5人×3回=15人

平成7年度

本館利用者連絡会

日 時 平成7年5月30日(火)～12月2日(土) 午後7時30分～9時30分

会 場 公民館本館

参加者 延べ45人

月 日	内 容
5. 30	今年の連絡会の活動・公民館のつどい・役員の改選について
7. 18	今年の連絡会の活動について
10. 3	アンケート結果と公民館への要望について
12. 2	利用者研修会について

本館利用者研修会

日 時 平成8年2月25日 午後1時30分～3時30分

会 場 公民館本館

参加者 18人

テーマ 『利用者と公民館の良い関係』

講 師 中央大学 奥田 康弘

本館調理室利用者連絡会

日 時 平成7年6月6日(火)～平成8年3月12日(火)
午前10時～12時 全6回
会 場 公民館本館
参加者 12人×6回=72人
内 容 調理室の清掃等

平成8年度

本館利用者連絡会

日 時 平成8年5月25日(土)～1月18日(土)全6回
会 場 公民館本館
参加者 延べ150人

月 日	内 容	時 間
5. 25	今年の連絡会の活動、ロッカー、役員の改選について	午前10時～
6. 29	今年の連絡会の活動、ロッカー、役員の改選について	午前10時～
7. 26	今年の連絡会の活動について	午後7時30分～
9. 28	今年の連絡会の活動、アンケートについて	午前10時～
11. 22	集会室の申し込みについて	午後7時30分～
1. 18	利用者研修会について	午前10時～

本館利用者研修会

日 時 平成9年3月8日(日)午後1時～3時
会 場 公民館本館
参加者 29人
テーマ 『利用者と公民館の良い関係～三つの館でのトークイン』

本館美術室利用者連絡会

期 間 平成8年8月8日(木)～平成8年12月1日(日)全5回

参加者 23人

月 日	内 容
8. 8	美術室のロッカーについて、本館利用者連絡会について
9. 1	美術室の清掃、ロッカーの使い方、本館利用者連絡会について
9. 10	ロッカーについて、本館利用者連絡会について
10. 1	本館利用者連絡会について
12. 1	本館利用者連絡会の報告、美術室の備品について

本館調理室利用者連絡会

日 時 平成8年5月21日(火)～平成8年9月10日(火)

午後1時～3時 全4回

会 場 公民館本館

参加者 11人×4回=44人

内 容 調理室の清掃・各団体の交流会の実施等

2. 公民館利用団体

公民館では地域の住民のために実際生活に則したさまざまな教育・学術・文化に関する事業を実施するとともに、市民の自主的な活動への援助も行っている。その一つとして、公民館の集会室等の使用料を免除しているが、その活動が、豊かな市民生活とまちの文化を創造することへつながっていく活動であるかを判断するための基準を作成し、それに基づいて利用団体への援助を行っている。要件は次の通りである。

- 1 会員が自主的、主体的に運営している団体であること。会の運営が講師に依存した教室的なものは免除の対象にならない。
- 2 政治、宗教、営利活動を行わないこと。
- 3 団体の構成員は3人以上で、当該構成員の半数以上が市内に在住、在勤、又は、在学していること。
- 4 団体の代表者は市内に在住していること。
- 5 団体の活動実績を毎年4月末日までに公民館に報告すること。提出された活動実績は冊子等にして広く市民に公開する。

新しく活動を始めるサークルには、以上のことに加えて、公民館が主催する事業及び利用者連絡会や研修会等に積極的に参加してもらうこと、代表者の変更や団体消滅にあたっては届け出てもらうこと、公民館から団体への援助の内容などについても説明している。

本館利用団体

現在、公民館で活動している団体は216団体ある。その中には本館を拠点に活動している団体だけでなく、松林、白梅の両分館、福社会館や市内の地域会館で活動している団体も含まれている。

本館で活動している団体の特徴としては、調理室、美術室（ステンドグラスのルーター、イーゼルなどの備品）を使用する活動がある。また、ダ

ンスの団体の夜間利用や、保育室を使った活動が多いのも特徴である。

逆に陶芸や七宝焼などの活動は、本館には専用の窯がないために分館での活動のみとなっている。

ここでは、本館を拠点に活動している121団体を、活動内容によって分類して紹介する。

〔利用者連絡会〕

公民館本館利用者連絡会

〔フラダンス〕

イリマレイアロハカルチャーNo1

フラダンス愛好会（イリマレイアロハ）

ロミの会、プアマナの会

〔社交ダンス〕

スウィングダンスクラブ、ダンスサークルフレンズ

福生社交ダンス愛好会、福生スポーツダンスクラブ

福生ソーシャルダンスクラブ

福生社交ダンスアカデミー

〔ガールスカウト〕

ガールスカウト東京都191団

〔ボーイスカウト〕

ボーイスカウト福生第2団ビーバー隊

ボーイスカウト福生第1団

〔演劇〕

演劇集団SHAKE HIP

劇団TYSP、市民劇団バックス

〔バンド〕

TMT、F. E. B、玉川上水カルテット

横田・パラダイス・グループ

〔リコーダ〕

福生リコーダクラブ

〔リトミック〕

サークル「ポップコーン」

〔音楽団体〕

福生市音楽愛好者連絡会

福生吹奏楽団後援会

〔合唱〕

ゴールド・スターズ、コール野ばら
コール福生21、福生市民コーラス

〔吹奏楽〕

福生吹奏楽団

〔手芸〕

月曜会

〔料理〕

子どもクッキングクラブ
手作りの会A、手作りの会B
福生栄友会

〔教育問題〕

福生市にも中学校給食を願う会
教育研究会
自由の風民主的な教育を創る市民の会
福生子育て懇談会

七味とうがらし

性教協多摩サークル

〔エアロビクス〕

いちごクラブ、エアロメイト

〔ヨガ〕

ヨガサークル、若葉会ヨガサークル

〔太極拳〕

シルクロード福生

〔体操〕

ピーチサークル

〔タガログ語〕

タガログ学校

〔英会話〕

英会話グループ、S. E. E
ハッピートーク、フレンドシップサークル
E. Zスピーク

〔日本語（国際交流）〕

ゆうあいふっさ、福生国際学校

〔スタンドグラス〕

スタンドグラスの会

〔パッチワーク〕

キルティングBee、フラワーバスケット

〔レザークラフト〕

革工芸の会

〔人形〕

人形サークル「虹の会」
福東木目込人形会

〔木工作〕

丸太ん坊・木工クラブ

〔カラオケ〕

こだま会、ふっさ祥会

〔くみひも〕

福生くみひも同好会

〔フラワーアレンジ〕

フラワーアレンジ「花づくし」

〔ペン習字〕

ペンの会

〔絵手紙〕

福生絵手紙の会

〔居合道〕

居合道愛好会

〔三味線〕

邦楽同好会

〔尺八〕

都山流尺八クラブ

〔書道〕

紅書道会、書燈
福書芸、墨友会

〔新舞踊〕

福生演芸喜楽会

〔生け花〕

ソレイユ、彩雲の会

〔茶道〕

なつめの会、もみじ会
和恵会

〔着付け〕

紬の会

〔朝鮮舞踊〕

つつじ会

〔日本舞踊〕

美花会

〔民謡〕

寿々世会

〔琉球舞踊〕

沖縄芸能愛好会

〔アマチュア無線〕

福生アマチュア無線クラブ

〔リサイクル〕

福生リサイクルの会

〔女性問題〕

女性学サークル・もくせい

福生市女性問題連絡会

福生のくらしを考える女たちの会

〔環境問題〕

CLUB21

福生ココロジエの会

〔高齢者の生きがいづくり〕

語らいの広場

〔ちぎり絵〕

和紙ちぎり絵「虹の会」

〔デコパージュ〕

楽しいデコパージュの会

〔デッサン〕

彩光会

〔トールペイント〕

T&D

ローズマリング

〔絵画〕

福生美術同好会、SASAの会

〔手描き染め〕

アリテックス手描き染めの会

〔手話〕

手話サークルもみじ、福手の会

〔福祉〕

のびる会、友の会

バターロールクラブ

福生市手をつなぐ親の会

あゆみの会、御仁会

〔俳句〕

霧の音、霧の音のびる支部

鷹西多摩句会

〔自分史〕

もくせいの会

〔保育〕

あじさい、あじさいOB会

ありんこ、くすくす

シュガー